



愛知県のオリジナル新品種「夕焼け姫」 ～船島小学校の児童が初収穫を行います～

愛知県独自のかんきつの新品種「夕焼け姫」を東海市の新たな地域特産品として産地化・ブランド化するため、東海市果樹振興会マルチ栽培夕焼け姫部会と共同で試験栽培をしています。

また、試験ほ場の隣にある船島小学校は、授業の一環として現在の6年生が3年前に植栽体験を実施しました。植栽した苗木には児童の名札がついており、この3年間、愛着を持って、施肥などの栽培体験をしてくれました。

■日時

令和5年（2023年）11月27日（月） 午前10時55分～11時40分

※ 予備日は令和5年（2023年）12月4日（月）の同時刻

■場所

東海市立農業センターかんきつ（夕焼け姫）栽培試験ほ場

住所：東海市加木屋町旭139番地・140番地（第2ほ場）



■参加者

東海市立船島小学校6年生の児童 約70人（予定）

■内容

夕焼け姫の初収穫を、船島小学校6年生の授業の一環である「総合的な学習の時間」として実施

■その他

取材NGの児童がいるため、学校側にご確認いただきますようお願いいたします。

■かんきつ（夕焼け姫）概要

愛知県農業総合試験場で開発された品種（2013年品種登録）です。鮮やかな赤橙色が特徴で、一般的な温州みかんより早い11月上旬頃から収穫ができます。マルチングシート（防水シート）で土壌を全面被覆し、適度な水分ストレスを与える栽培方法により、糖度を高めることができます。

（目標：糖度12度以上、クエン酸1%以下）

問合せ	環境経済部農務課 担当：服部（はっとり） 052-603-2211、0562-33-1111（内線524）
-----	---